

都島区高齢者地域包括ケアシステム推進会議 議事要旨

日 時：令和5年3月17日(金) 14時00分～15時30分

場 所：都島区役所 第5・6会議室 出席者：名簿のとおり

議 事：

1. 今年度の検討課題について

- ・ 作業部会の実施報告 … 資料1
- ・ 今年度の検討課題について、一定の仕組みづくりができたことから、本会議において作業部会を終了とするこの了承を得る。

2. 高齢者に関する都島区の課題の共有

… 資料2

意見交換（委員からの主な意見）

- ・ 町会や、行事などに参加している人はいいが、参加しない人の情報を得るためにどうすればいいのか知りたい。
- ・ 個人情報観点から難しいと思うが区役所が持っている情報を名簿にして活用できれば早期支援につながると思う。
- ・ 大阪市として「要援護者名簿」の作成を見守り相談室に委託し、できる限り積極的な情報収集に努めており、今後も必要性について周知していくことが大事であると考えている。

3. 次年度取り組む課題

「元気なうちからもしもの時を考えよう」

… 資料3

意見交換（委員からの主な意見）

- ・ エンディングノートやACPが重要であることは理解し取り組み内容にも賛同できるが火災等で消失してしまうことも想定し、保管場所は検討すべき。
- ・ エンディングノートは誰にどう伝えるかが大事。緊急連絡先は複数必要。薬剤師会も協力できる。薬剤師会の課題として地域とかかわりのある店舗とそうでない店舗があるので今後薬局間でも連携を深めていく予定。
- ・ 課題について民生委員としてできる役割があると思うが、民生委員に対する高齢者の拒否感の払拭が課題と捉えている。
- ・ コロナ禍により人と人の関りが希薄化した。町会は地域の身近な存在と思われがちだが、拒否感を持つ人もあり町会で転入者等の情報を掴むのが難しいことも多い。
- ・ ケアマネージャとして利用者を訪問するので緊急連絡先の必要性の周知は可能。
- ・ 高齢者に特化せず、大きな災害等に巻き込まれる可能性もあるので若い世代から取り組む姿勢が必要。
- ・ 警察では巡回時、有事の時のため緊急連絡先を確認している。
- ・ 消防署は緊急搬送時、まず鍵を探し薬を搬送先の病院へ持って行くようにしているが最優先は命の確保であるため、探す時間に限りがある。
- ・ 既往歴、通院歴の情報があれば病院との連携が進めやすい。緊急連絡先があればスムーズな救援活動につながる。
- ・ あんしんカプセルは大阪市の消防署として把握している。

- ・ 社会福祉協議会見守り相談室では要援護者名簿を作成し、地域での見守り活動に活かしている。気になる情報を集約し、見守り相談室で訪問を行っている。また一部のコンビニエンスストアと連携し、気になる高齢者などがいれば連絡してもらうなどの取りこぼしのない活動を展開している。
- ・ 「もしもの時を考える」という当事者意識が大事。認知症高齢者の区民講演会では、当事者の方に直接講演をしてもらう機会を作り、当事者意識を持ってもらうことに有用であったため、当事者を含めた勉強会などを開催するのもよい方法である。
- ・ 社会福祉協議会で好評であったスタンプラリーなどのイベント参加は有用であり、例えば消火器の使い方や、特殊詐欺に気を付けよう、などイベントごとにスタンプラリーを使って最終的に同じ目標である「もしもの時を考える」に向かっていくのに良いツールだし、区民の意識も変わるのではないか。
- ・ 医療機関への受診者の6割がお薬手帳を持参している。お薬手帳のカバーに緊急連絡先を記入できるシートを作成し、活用する取り組みを来年度に向けて始動している。
- ・ おくすり手帳の緊急連絡先については常に更新が必要であると考えするため、手に取った医療機関や薬局、各支援者は常に最新のものであるか機会があるごとに確認するという意識が大切である。

4. 次回本会議予定

令和5年9月開催予定。

次回本会議までにコアメンバー会議にて包括4事業の取り組み内容を確認しながら、共通の目標に向けて取り組むこととする。